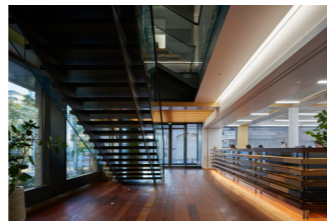




撮影者：小川泰祐



撮影者：鈴木文人

01

最優秀賞 株式会社三浦工務店本社ビル

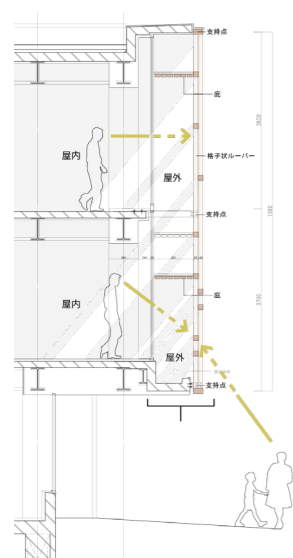
受賞者
 施主・施工者 株式会社三浦工務店
 設計者 株式会社浅井アーキテクツ級建築士事務所

まちづくりを支える地域密着型工務店の本社ビルの在り方を考えるプロジェクト。施主は足立区の住宅街で1963年に創業、現在も同区と周辺エリアの街の発展に貢献していくことを使命と捉え、総合建築業を展開している企業である。創業55年を超え、分散・老朽化した事務所を集約、住宅街である創業の地での建替えが計画された。本建物は地盤、耐火要求の制約で鉄骨造となったが、創業者自身が大工であり、木材への愛着ある精神が脈々と流れ現在も寺社仏閣などの木造建築を得意とすることから、地域の人々の目に見える形で木材への愛着を表したく、外装に使用する挑戦となった。

また、技術的に新しい挑戦として、有機的なアルゴリズムデザインと伝統工法の合作にチャレンジした。二重の木格子と庇のファサードは、環境負荷低減として日射遮蔽50%、居室を密になるよう検証した。施工も自社専属大工が担い、窒素熱処理で耐候性を高めた三寸五分のヒノキ材を伝統的仕口により手作業で一本一本組み上げた。これが内部と近隣との間の視覚的、心理的な緩衝帯をつくり双方にとって快適な環境を実現し、地域のランドマークとなっている。

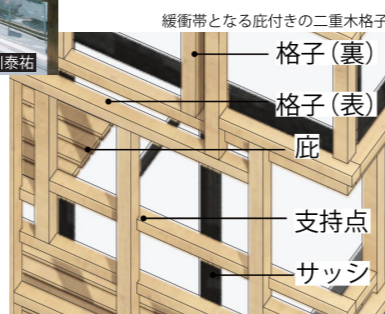
木材は内部空間にも様々なに使用し、顧客、社員、協力会社へ木材活用の楽しさ・快適さを伝えている。執務空間に構造用合板、シナ合板、タモ集成材等、受付カウンターには、創業者の集めた厚み8cmの11種類の無垢材を使用し手で触れられるデザインとした。

ファサードを視覚・心理的な緩衝帯となる二重木格子で覆い、周辺住宅地と事務所双方に快適さをもたらす



撮影者：小川泰祐

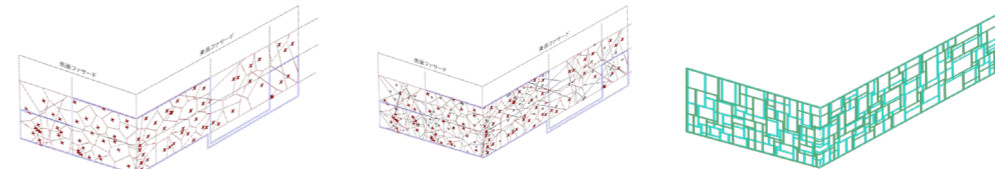
2階会議室と周辺住宅地のあいだの、庇付きの二重の木格子が緩衝帯となる。



有機的アルゴリズムデザインと伝統工法の合作にチャレンジ

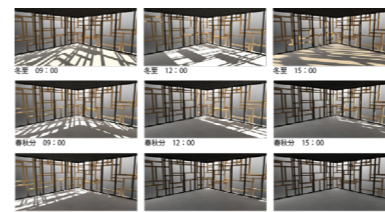
自社専属大工のチームが、三寸五分の角材を一本一本、手作業ではめて、立面2面に渡る切れ目のないファサードを完成させたことは、社員のプライドに訴える効果も大きかった。

①アルゴリズムエディタ(グラスホッパー)によって、居室が密で、非居室が疎になるよう格子形状をデザイン

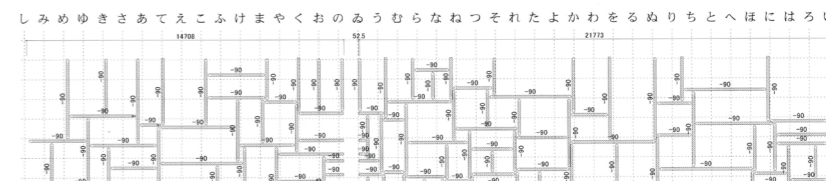


1. 室が非居室の2倍になるよう、ポロノイの母点を発生させる。
2. ポロノイの領域境界のメッシュを2パターン作成し2重を重ねる。
3. メッシュを矩形に変換、居室が密で、非居室が疎なモデルが出来た。

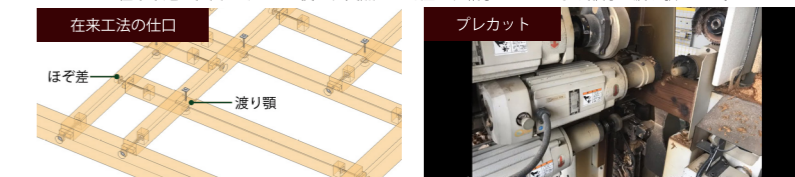
②環境性能を検証



③デザイン情報を正確かつ大量に処理するため、工場では3.5寸角のひのき材をプレカット



しめゆきさあてえこふけまやくおのあむらなねつそれたよかわをるぬりちとへほにはろい



日射遮蔽は、春秋分時の日射面において、木格子ルーバーのみの場合で約25パーセント、庇込みで約50パーセントの遮蔽を目指した。

④普段は木造建築を主に担当する大工チームによる、現場での追加加工と組み立て



外部・内部で様々な木質空間の提案を行い、お客様・社員・協力会社へ木材活用の楽しさ・快適さを伝えている



撮影者：小川泰祐

敷地東南。高度な社寺建築も得意とする工務店として、目に見える形で木造の技術が表れる空間を纏う。前庭スペースはお祭りなど地域行事にも使用する。



撮影者：鈴木文人

東面道路からの見え方。道を行き交う方々にも、木質空間の良さを風景として体験してもらえる外観。二重木格子の効果で、オフィスから見られている感じはしない。



撮影者：鈴木文人

【木素材を多用した執務空間や打合せコーナー】構造用合板、シナ合板、タモ集成材等、内装・棚やロッカーなどの家具にも多くの種類の木材を使用している。



撮影者：鈴木文人

3階コミュニケーションコーナーは社員のランチ、社内外のミーティング、セミナー、家族を招いてのイベント、コンサート、そば作り体験教室などに使われている。



受賞概要・講評

足立区所在の総合建築会社が、創業55年を迎え本社ビルの建替を行ったもの。岐阜県産のヒノキを外装のルーバーや庇等へ活用している。雨水による腐食対策として「窒素熱処理」を材全体に施し、またアルゴリズムによりデザインした格子形状が、オフィス内の日射量を部屋ごとにコントロールしている。

本作品については「木の存在を人々へ認識させる外観のインパクト」「アルゴリズムによる二重木格子のデザインが遮光効果を確保すると共に、彫りの深さを印象付けている点」等が評価された。